

ナシの作況について(6月30日分)

農技研果樹担当

1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」満開後 70 日の肥大状況は平年と比べ- 0.8 日であったが、80 日では、- 2.2 日となり、果実肥大は停滞傾向。GA 処理幸水は満開後 70 日の平年比は- 0.8 日であったが 80 日では- 2.0 日となり、果実肥大は停滞傾向。
- (2)「豊水」の果実肥大はやや鈍化。
- (3)「彩玉」の満開後 70 日における平年比は+6.5 日であったが、80 日では、+3.4 日となり、果実肥大はやや鈍化。他品種と比べ葉焼け症状(画像参照)が多い傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は満開後 80 日で、- 1.1 日となり、果実肥大は停滞傾向。



彩玉の葉焼け症状

2 病虫害の発生状況

ナミハダニの発生がナシ圃場の随所で確認されている。ハダニ類の多発している個所(SSによる農薬のかかりづらい箇所等)では落葉も確認されているので、ナミハダニに効果の高い農薬に脂肪酸系等の機能性展着剤を加用し、肩掛け散布機で丁寧に防除を行っている。



ハダニ類の発生

3 圃場のかん水について

果実肥大の停滞傾向については、少雨による土壤水分の低下も一因ではなかとの観点から、土壤かん水を行うことにした。

かん水については、短時間で多量にかん水し、水たまりができるようでは、根が傷み果実肥大に支障きたす場合があるので、夕方から夜間にかけてスプリンクラーやかん水チューブを用いて、表土が湿る程度にかん水する。